

【聖書箇所 요약】

イエス様はカペナウムの会堂で悪霊を追い出した後、シモン・ペテロのしゅうとめの熱病を癒されました。イエス様に手を取って起こされた直後に熱は引き、彼女は人々をもてなし始めました。

1. 近寄って下さる方

A. シモンのしゅうとめ

- (1) シモンとはペテロの本名
「十二使徒の名は、次のとおりである。まずペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレ」(マタイによる福音書 第10章2節)
- (2) マルコ福音書は、実はペテロ福音書である
・マルコはペテロの口述筆記者
- (3) ペテロは妻の母の面倒を見ていた
・あたたかい人間関係

B. キリストとの出会い

- (1) イエス様ご自身が近寄って下さる
・「熱があってもこれくらい頑張っているのだから」ではない
・条件付きの愛ではなく、無条件の愛
- (2) 熱病とは、動きたくても動けない状態
・人間の罪の姿
- (3) 問題の中に、ただ迎え入れるのみ

2. 信仰による癒しの方法

A. 手をとって

- (1) キリストの手を拒否しないこと
・シモンのしゅうとめはイエス様の手を振り払わなかった
- (2) キリストがあなたの手を握られる
・私たちがしっかりイエス様の手をつかむのではない。

B. 起こされる

- (1) 立ち上がらせて下さる方
・この段階ではまだ高熱でフラフラのはず
・通常、熱が引いてから立ち上がる
・癒されるのだから立ち上がる
- (2) 信仰による行動
「その手をとって起されると、熱が引き」(31節)



- イエス様と出会い、手を取ってくださるのがわかる時は、自分の今の状況にかかわらず、立ち上がろうと決心することです。以前と変わらず、フラフラで、頼りない自分であり、すぐにまた倒れる気がしてどうしようもないかもしれません。しかし、イエス様は立ち上がらせて下さる御方なのです。イエス様の思いと一致し、立ち上がろうと行動を起こした直後に、シモンのしゅうとめの熱は引きました。その後、彼女は人々をもてなし始めるほどまでに元気になったと記されています。イエス様と出会い、行動を起こした人の人生には、自分が考えている以上の変化が起こるのです。

3. 感謝の応答

A. 癒された後

- (1) 感謝の気持ちを表しているか
 - ・ 医師に「治りました」と報告に行く人
- (2) ペテロのしゅうとめは自分に出来ることを始めた。

B. ただで得られる恵み

- (1) キリストの十字架によって罪の代価は全て払われた
「さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。」
(ペテロの第1の手紙 第2章24節)
- (2) 喜んでもてなす人生を生きる
 - ・ 山形講演会で奉仕する方々



今日の
ポイント

イエス様は私たちの手を取り、起こされる御方です。信じて立ち上がる時に神の御業を見ます。それからは喜んで生きる人生を選びましょう。

— 祈禱会説教 —

イエスに出会った人々シリーズ (その6)

手をとって起こされる神

- 29 それから会堂を出るとすぐ、ヤコブとヨハネとを連れて、シモンとアンデレとの家にはいって行かれた。
- 30 ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床についていたので、人々はさっそく、そのことをイエスに知らせた。
- 31 イエスは近寄り、その手をとって起されると、熱が引き、女は彼らをもてなした。

(マルコによる福音書 第1章29節～31節)

- 12 そして、ある村にはいられると、十人のらい病人に出会われたが、彼らは遠くの方で立ちどまり、
- 13 声を張りあげて、「イエスさま、わたしたちをあわれんでください」と言った。
- 14 イエスは彼らをごらんになって、「祭司たちのところに行って、からだを見せなさい」と言われた。そして、行く途中で彼らはきよめられた。
- 15 そのうちのひとり、自分がいやされたことを知り、大声で神をほめたたえながら帰ってきて、
- 16 イエスの足もとにひれ伏して感謝した。これはサマリヤ人であった。
- 17 イエスは彼にむかって言われた、「きよめられたのは、十人ではなかったか。ほかの九人は、どこにいるのか。
- 18 神をほめたたえるために帰ってきたものは、この他国人のほかにはいないのか」。
- 19 それから、その人に言われた、「立って行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのだ」。

(ルカによる福音書 第17章12節～19節)



2017
4/26
説教
丸山 芳浩 師